

2025年度水・地域支援事業
(ビジネスプランコンテスト)
課題提起・付加価値創造コース（アイデア募集）

採択ビジネスアイデアの概要

アイデア名称：AKA Project(アカ・プロジェクト) — 沖縄の赤土で描く、
「水」と「地域」の新しいストーリー —

採択者名：真栄城 美里

(注) 本ビジネスアイデアの概要を原文のまま掲載します。
本ビジネスアイデアの知的財産権は、採択者が有しています。
本ビジネスアイデアの無断転載・引用を禁止します。

2025年9月1日

主催者 公益財団法人 水・地域イノベーション財団

【ビジネスアイデアの概要】

<応募ビジネスアイデアで対象とする課題及び考案の経緯>

沖縄では年間34,000トン以上の赤土が流出し、サンゴの死滅や海水の濁りなど水環境に深刻な影響を及ぼしています。赤土問題は視覚化しにくく、住民や観光客の意識に届きにくい課題です。そこで、赤土を顔料化し、アートインクとして再活用することで、水環境問題を“色”を通じて社会に伝える、視覚的かつ感情的なアプローチを提案します。

<課題解決するための現段階でのアイデア>

AKA Projectは、沖縄の赤土を乾燥・精製し、自然由来の顔料インクとして商品化するアップサイクル型のアイデアです。教育現場や観光施設での体験型ワークショップに活用することで、水環境課題を“体感”を通じて伝える新しいコミュニケーションメディアを目指します。アートインクの販売や教材展開による収益の一部を、赤土流出防止やサンゴ礁保全団体への寄付に充て、地域循環型の支援スキームを形成します。アーティスト、学校、CSR志向企業など多層的なターゲットに対応でき、他地域展開の可能性も視野に入れています。赤土という“水を濁す存在”を、“水を守る色”へと転換することにより、水と地域のつながりを再発見し、持続可能な未来を描くプロジェクトです。